

子どもたちを『不思議な世界』にいざなう星空

TOGO天文台 星空案内人 内藤 湖南さん 近藤 達也さん

学校だけでは学べない夜の観察

『水金地火木土天海』と学校で学んだ太陽系の惑星。地球と比較した惑星の大きさやその形は学んだけれど、空を見上げて肉眼では区別が付きません。

「なんで？」

子どもたちは、探究心で一杯です。学校で学んだことを自分自身で望遠鏡をのぞき、煌めく星々を観察する。こうした感動と体験の積み重ねにより、子どもたちの知的好奇心を育みたいという想いから、星空案内人のお二人がこの観察会が開催されるようになりました。



観察会のもう一つの狙い

単に星に詳しくなって欲しいわけではなく、星空案内人は話します。「子どもたちは、宇宙を見ることと同様に、身の回りの生き物、自然にも興味があります。ぜひ、親子で子どもの関心事を話題として、親子で会話をするにきっかけにしてほしい」と『親子のふれあいがづくり』となることも期待されています。

子どもスタッフがスマホ撮影

毎回参加している子どもたちが『ごもスタッフ』として自主的に観察会の補助をしています。リーダーの「はるき」は星空の魅力について「季節によって見える星座が違うところかな。スマホで写真が撮れるところも面白いですよ」と土星の環がくっきりと写された画像を見せてくれました。



いこまい館に天文台があるのをご存知ですか。その名は『TOGO天文台』。おおよそ月に1回、金曜日の夜に『親子星空観察会』が開催されています。

今回は、この観察会の『星空案内人』で、町内小中学校の校長先生も務められた内藤湖南さんと近藤達也さんに話を伺いました。



プラネタリウムに行かなくても

この日の観察会では、土星と木星が見られ、星空案内人からの分

次回は、12月17日金午後6時45分

『月』、『プレデラス星団（和名は「すばる」）の伝説』、冬のダイヤモンドについてです。

親子で参加してみたい方は、いかがでしょうか。

※申し込み不要

問い合わせ先：いこまい館総合案内

☎ 0561・37・5811